

40:17 第二年目の第一月、その月の第一日に幕屋は建てられた。

40:18 モーセは、幕屋を建てるとき、台座を据え、その板を立て、その横木を通し、その柱を立て、

40:19 幕屋の上に天幕を広げ、その上に天幕のおおいを掛けた。主がモーセに命じられたとおりである。

40:20 また、彼はさとしを取って箱に納め、棒を箱につけ、「贖いのふた」を箱の上に置き、

40:21 箱を幕屋の中に入れ、仕切りのために垂れ幕を掛け、あかしの箱の前を仕切った。主がモーセに命じられたとおりである。

40:22 また、彼は会見の天幕の中に、すなわち、幕屋の北のほうの側で垂れ幕の外側に、机を置いた。

40:23 その上にパンを一行に並べて、主の前に供えた。主がモーセに命じられたとおりである。

40:24 彼は会見の天幕の中、机の反対側の幕屋の南側に、燭台を置いた。

40:25 そうして彼は主の前にともしび皿を上げた。主がモーセに命じられたとおりである。

40:26 それから彼は、会見の天幕の中の垂れ幕の前に、金の壇を置き、

40:27 その上でかおりの高い香をたいた。主がモーセに命じられたとおりである。

40:28 彼は、幕屋の入口に垂れ幕を掛け、

40:29 全焼のいけにえの祭壇を、会見の天幕である幕屋の入口に置き、その上に全焼のいけにえと穀物のささげ物とをささげた。主がモーセに命じられたとおりである。

40:30 また彼は、会見の天幕と祭壇との間に洗盤を置き、洗いのために、それに水を入れた。

40:31 モーセとアロンとその子らは、それで手と足を洗った。

40:32 会見の天幕にはいるとき、または、祭壇に近づくとき、彼らはいつも洗った。主がモーセに命じられたとおりである。

40:33 また、幕屋と祭壇の回りに庭を設け、庭の門に垂れ幕を掛けた。こうして、モーセはその仕事を終えた。

幕屋が建てられました。イスラエルの感激は相당한ものだったでしょう。エジプトから出発して1年も経っていません。彼らは、主の導き、荒野の苦難、自らの不信仰、主の臨在とその必要性をつくづく味わったのでした。器具とそれらの位置について、その意味を深く感じたことでしょう。

このように主を礼拝し交わる者は、自分自身と向き合い、その上で主のすばらしさをたたえるのです。主との関係をより良いものにしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

